

エコキュート

キャンペーン!!

※2025年9月30日お申込分まで適用

エコキュートの交換は10年が目安です!!



記載の商品 すべて 補助金対象!

取扱メーカー

HITACHI DAIKIN
MITSUBISHI NORITZ

HITACHI

水道直圧給湯で
パワフルな水圧!



一般地 370L 460L
角型
フルオート 3~5人用

標準タンク(GFタイプ)
BHP-FG37XU
BHP-FG46XU
スタイリッシュリモコン
脚部カバー付き

希望小売価格
370L 113.6万円(税込) 460L 152.1万円(税込)
↓ 37.2万円 ↓ 40.5万円



一般地 370L 460L
フルオート 角型

2024年モデル
370リットル および 460リットル
SRT-S376
SRT-S466

・スタイリッシュリモコン
・脚部カバー付き

トップクラスの人気メーカー
ほっとリターンで電気代節約!

希望小売価格
370L 139万円(税込) 460L 151万円(税込)
↓ 36.7万円 ↓ 39.8万円

DAIKIN

一般地 460L 370L
角型
フルオート

角型 フルオートタイプ
370リットル および 460リットル
EQA37YFV
EQA46YFV
・スタイリッシュリモコン
・脚部カバー付き

パワフル高圧水湯!
地下水・井戸水も対応

希望小売価格
370L 137.5万円(税込) 460L 150万円(税込)
↓ 39.8万円 ↓ 43.3万円

NORITZ

一般地 370L 460L
フルオート 角型

ノーリツエコキュート
SE-T370A
SE-T460A

スタイリッシュリモコン
脚部カバー付き

国内シェア40%! リンナイ
と並ぶ有名給湯器メーカー
保守点検サービスも充実

希望小売価格
370L 103.3万円(税込) 460L 112.8万円(税込)
↓ 34.7万円 ↓ 37.8万円

全て工事費別

全て税込価格

お問い合わせは

建設業許可/国土交通大臣(般・特-2)第9277号
二級建築士事務所 熊本県知事登録 第5172号

熊本事業部 不動産建設課
〒869-1231 熊本県菊池郡大津町平川1500
本田技研工業株式会社熊本製作所内

お問い合わせ E-mail k.fudou@honda-kaihatsu.co.jp



ホンダ開発株式会社

096-293-6223



給湯省エネ2025事業

特にCO₂削減効果の高い高効率給湯器の設置に特化して重点的に、支援を行います。



対象となる方は？

- 給湯省エネ2025事業者と契約※1を締結し、高効率給湯器(対象機器)を導入もしくはリース利用する
- 対象機器を設置する住宅の所有者等である※2

※1 契約とは、機器の導入をする請負工事契約等。リースの場合はリース契約となります。
※2 既存住宅の購入時等に未使用の対象機器が設置されていても補助対象になりません。

補助金がもらえる期間は？

- ・ 着工日の期間 2024年11月22日以降に着手する工事

※締切は予算上限に応じて公表します。
※予算上限に達した場合、早期終了いたします。

対象となる機器は？

設置した対象機器の補助額に設置台数を乗じた金額が交付申請額になります。
ただし、設置台数の上限は、戸建住宅はいずれか2台まで、共同住宅等はいずれか1台までです。
高効率給湯器の導入と併せて、蓄熱暖房機または電気温水器を撤去する場合も補助対象※となります。

設置する給湯器	補助額	補助上限(住戸あたり)
家庭用燃料電池(エネファーム)	16万円/台 20万円/台	戸建住宅 : いずれか2台まで 共同住宅等 : いずれか1台まで
電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)	ハイブリッド給湯機: 8万円~15万円/台 エコキュート: 6万円~13万円/台	
★ ヒートポンプ給湯機(エコキュート)		
撤去する機器	補助額	補助上限(住戸あたり)
電気蓄熱暖房機	8万円/台	上限2台まで
電気温水器	4万円/台	高効率給湯器導入により補助を受ける台数まで

※エコキュートの撤去は加算対象となりませんので、ご注意ください。
※蓄熱暖房機等の撤去により、ご契約の電気料金メニューが変更となる可能性があります。詳しくは、ご契約の電力事業者にお問い合わせください。

以下に該当する製品等は補助の対象になりません。

- × 中古品、またはメーカーの保証の対象外である機器
- × 店舗併用住宅等に設置するもので、専ら店舗等で利用する機器
- × 倉庫、店舗等(住宅以外の用途)に設置する機器
- × 従前より省エネ性能が下がる機器
- × 補助事業に要する経費が補助額に満たない工事
- × リフォーム工事の発注者が対象機器を購入し、その取付けを給湯省エネ事業者へ依頼する工事(いわゆる施主支給や材工分離による工事)
- × 自社が保有する住宅に自社で行うリフォーム工事や、いわゆるDIY(自ら行うリフォーム工事)

子育てグリーン住宅支援事業との併用

給湯省エネ2025事業と子育てグリーン住宅支援事業は、補助対象となる製品およびその性能要件が異なりますが、一部の補助対象となる機器は重複しています。複数の高効率給湯器を導入した場合、給湯器の性能等に応じて両事業を併用し、それぞれ補助を受けることができます。(同一の契約および工期でも可)

情報元 LIXIL住宅省エネ2025キャンペーン はやわかりBOOK XG5800_eBook.pdfより一部抜粋